

周南地域の野犬問題に関する連絡協議会（第10回会議）の開催について

周南地域の野犬問題解決に向け、関係者間の円滑な連携を通じて、実効性のある取組を推進するため設置した、周南地域の野犬問題に関する連絡協議会の第10回会議を次のとおり開催しました。

1 日 時

令和4年8月1日（月曜日） 午後1時30分から午後2時55分まで

2 場 所

周南市役所4階庁議室

3 出席者

○ 周南地域の野犬問題に関する連絡協議会委員

委 員	備 考
山口県環境生活部次長	会長
周南市環境生活部長	副会長
周南市環境生活部環境政策課長	
周南市都市整備部公園花とみどり課長	
周南市教育委員会学校教育課長	
山口県警察本部周南警察署生活安全課長	
山口県周南環境保健所副部長	代理
山口県周南環境保健所生活環境課長	
山口県環境生活部生活衛生課長	

○ 周南市 藤井市長

4 概 要

会議では、各機関が取組状況を報告し、課題を整理したうえで、今後の対応について、協議しました。

(1) これまでの取組状況

ア 野犬の捕獲 [県]

①捕獲体制

- しゅうなん通報アプリ等の情報を活用した巡回調査、捕獲の実施
- 捕獲檻の増設等（R1.8～）
- 周南緑地周辺に加え、より広域的な捕獲対応（R2.1～）
- 新たな試み（R4.7～）
 - ・周南緑地内に防除ネットを試行的に設置し、集中捕獲を実施
 - ・大型囲い檻の遠隔捕獲システム導入の検討

②捕獲実績（別紙参照）

捕獲頭数は、成犬・子犬ともに減少傾向

イ 野犬への餌やり行為の対策 [市]

①餌やり禁止パトロール

むやみな餌やり禁止の観点から、大迫田共同墓地や周南緑地内を中心に巡回・指導を実施し、むやみな餌やり行為を抑止

○回数 [R3年度] 日中：190回、早朝・夜間：23回

[R4年度] 日中：49回、早朝・夜間：5回

○結果 [R3年度] 口頭指導4回、うち文書指導2回、餌回収1回

[R4年度] 餌回収2回

○今後の方針：通報アプリ等の情報を基により効率的なパトロールを実施

②公園・墓地内の管理強化

○大迫田共同墓地内への夜間の進入を禁止：2箇所（R2.6～R4.3）

○野犬が棲みにくい環境づくりのための草刈り：延べ約45,000㎡

ウ しゅうなん通報アプリ（野犬情報通報機能）の配信 [市]（R2.9～）

○総ダウンロード数：6,078件（R4.6.30現在）

○通報件数：[R3年度] 803件、[R4年度] 251件

○情報は周南環境保健所と共有し、野犬捕獲や餌やり行為への対策に活用

エ 野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組 [県・市]

○啓発イベントの実施（R3.11.6、イオンタウン周南久米店、ファミリーマート周南栗屋店）

○ホームページ等による情報発信

オ 咬傷事故発生場所における対応 [県・市]

○地元住民への説明、注意喚起

○捕獲体制の強化（大型囲い檻等の設置、早朝・夜間での集中捕獲の実施）

(2) 成果と課題

ア 成果

令和元年度に連絡協議会を設置し、野犬対策に取り組んできた結果、保健所に寄せられる野犬の目撃情報や苦情数は減少している。また、職員巡回時に野犬を見かけることが少なくなったこと等からも、対策強化に一定の成果が上がっている。

イ 課題

依然として、野犬が広範囲に目撃されていることや、住民からの不安の声が市に寄せられており、県民の安心・安全を確保するため、周南市や県警との連携を強化して、更なる野犬対策に取り組む必要がある。

(3) 今後の対応

ア 【強化】野犬の捕獲 [県・市]

- 大型囲い檻の遠隔捕獲システムの本格導入
- アプリ等を活用した、野犬が多数生息する地域における集中捕獲の実施
- IPカメラとドロップネットを組み合わせた捕獲の実施
- 大型捕獲柵の設置を検討

イ 【強化】むやみな餌やり禁止に向けた対策 [市・県・警察]

- アプリ等を活用した、効果的・広域的なエサやり禁止パトロールの実施
- 監視カメラを活用した餌やり行為の抑止、餌やり行為の時間特定
- 地域との連携強化（餌やり情報の共有）
- 深夜帯の給餌者の監視（業務委託による実施）
給餌者への直接的な注意喚起のみでなく、収集情報を今後のパトロールに活用
- 妨害行為者に対する警察との連携

ウ 【継続】咬傷事故発生場所における対応 [県・市・警察]

- 周辺住民への注意喚起等
- 監視カメラ、しゅうなん通報アプリ等による野犬の出没状況の把握
- 咬傷事故発生場所における集中的な捕獲の実施

エ 【継続】野犬が棲みにくい環境づくりのための草刈り [市]

- 目撃情報等を参考に、棲みかとなる可能性が高い箇所を選定し草刈りを実施

オ 【強化】野犬情報の収集と発信 [市]

- 「しゅうなん通報アプリ」の野犬通報情報を県と共有し、野犬対策に活用
 - ・野犬の出没時間、場所等の情報を分析し、効率的かつ効果的な野犬の捕獲
 - ・市民に通報場所等を示した地図情報を定期的に配信／被害防止への注意喚起

カ 【継続】野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組 [市・県]

- 街頭における野犬対策キャンペーンの実施

(4) その他

次回会議の開催時期は、今後の取組状況等を踏まえ、関係機関で協議し、決定